



三砂中だより

江東区立第三砂町中学校通信

令和8年7月9日発行

校長 福田 克彦

～2年生 移動教室レポート～ 深まった絆、忘れられない思い出に！

2年生は、6月29日から7月1日までの3日間、長野県茅野市にある車山高原での移動教室を実施しました。今年度のスローガンは「友情って無限にあんねん」。大自然に囲まれた3日間の中で、生徒たちは集団生活を通してルールを守り、お互いを気遣いながら、強い信頼と友情を育むことができました。

豊かな自然と、ここでしかできない体験活動では、八島湿原を登山ガイドとともに散策しながらの植物観察や、鷹山ファミリー牧場での牛の乳しぼりやソーセージ作り、そして全員で楽しんだバーベキューの昼食など、盛りだくさんのプログラムに挑戦しました。特に牛の乳しぼりでは、生きている牛の体温を肌で感じ、上手に絞れた後には「温かい！」という驚きと感動の声がそこかしこから上がっていました。また、持参した防虫スプレーがあまり効かず、自分に近づいてくる虫たちから必死に逃げながらも、一生懸命に乳しぼりに挑戦する生徒の姿も見られるなど、大自然の中ならではの体験もありました。

都会を離れ、自然や生き物と直接触れ合うことで、私たちが日々いただいている「食」への感謝を改めて実感し、心豊かな時間を過ごす素晴らしい機会となりました。そして皆と共に過ごす中で得た「無限の友情」と規範意識も、これからの学校生活にぜひ活かしてほしいと思います。

『地域からのメッセージ』 ～学校運営協議会委員の皆様 より～

7月6日（月）の全校朝礼より、地域や保護者の皆様と学校をつなぐ「学校運営協議会委員」の方々による講演会がスタートしました。第1回目は、PTA会長の安高様に、「親として中学生に願うこと」というテーマで、一人の保護者の視点から温かいメッセージをいただきました。

人口減少やAIの発展など、大人も正解が分からない激変の時代だからこそ「私たち大人もどう生きるのが正解か、明確な答えを持っているわけではない」と率直な思いを語られました。その上で、「何か一つでも本気で打ち込めるものを見つけてほしい」と強いエールをいただきました。親が求めているのは完璧な結果ではなく、自分なりにやり切ったという経験です。達成感でも悔しさでも、涙が出るほど本気で努力した経験は、将来どんな道を歩むことになっても必ず大きな支えになると、ご自身の経験を交えてお話してくださいました。

「完璧でなくていい。どんな結果になろうと、私たちはいつでも皆さんの味方です」という心強い言葉に、生徒たちは真剣な表情で耳を傾けていました。安高様からいただいたメッセージを胸に、何事にも「自分なりにやり切る」姿勢を大切にしていきたいと思います。貴重なお話をありがとうございました。

「お知らせ」

第1回 学校公開（6月16日～18日）へのご来校ありがとうございました。延べ279名という大変多くの皆様にご来校いただき、生徒たちの学習に励む姿や活気ある雰囲気をご参観いただく機会となりました。心より御礼申し上げます。

これからの予定

- 三者面談期間：7月21日（火）～7月27日（月）[5日間]
- 第2回学校公開期間：9月24日（木）～9月26日（土）[3日間]
- ※ 詳細は、ご案内をご確認ください。